

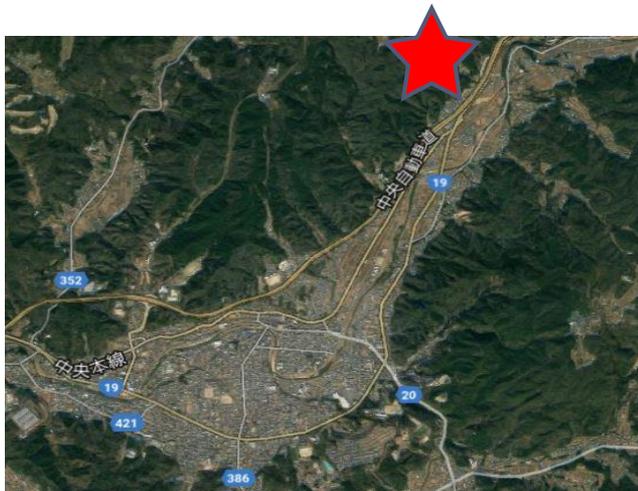


鶴ヶ城登城道追加整備計画案

平成31年度瑞浪市夢づくり地域交付金ステップアップ事業申請

鶴ヶ城跡

- ▶ ○土岐町鶴城区内の山林中腹に存する鎌倉時代からの
- ▶ 山城（県指定史跡）
- ▶ ・鶴が羽を広げている形から鶴ヶ城と呼ばれる
- ▶ 但し、中央自動車道で両翼の半分を消失
- ▶ ＊戦国時代までは神籠（こうの）城（砦）
- ▶ ・ ・ ・ 織田信長も対武田軍との攻防で重要視



鶴ヶ城跡

- ▶ ○土岐氏が築城か
- ▶ • 千畳敷には土岐神社（明治以降の建立）
- ▶ • 東側の麓に土岐頼兼の墓



鶴ヶ城跡

- ▶ ○特徴
- ▶ ①下街道から比較的短時間で登城できる
- ▶ ②石垣等のない自然の地形を利用した山城
- ▶ ③切り岸・土塁等が戦時の守りのイメージを良く伝える



平成26年2月登城道整備完成

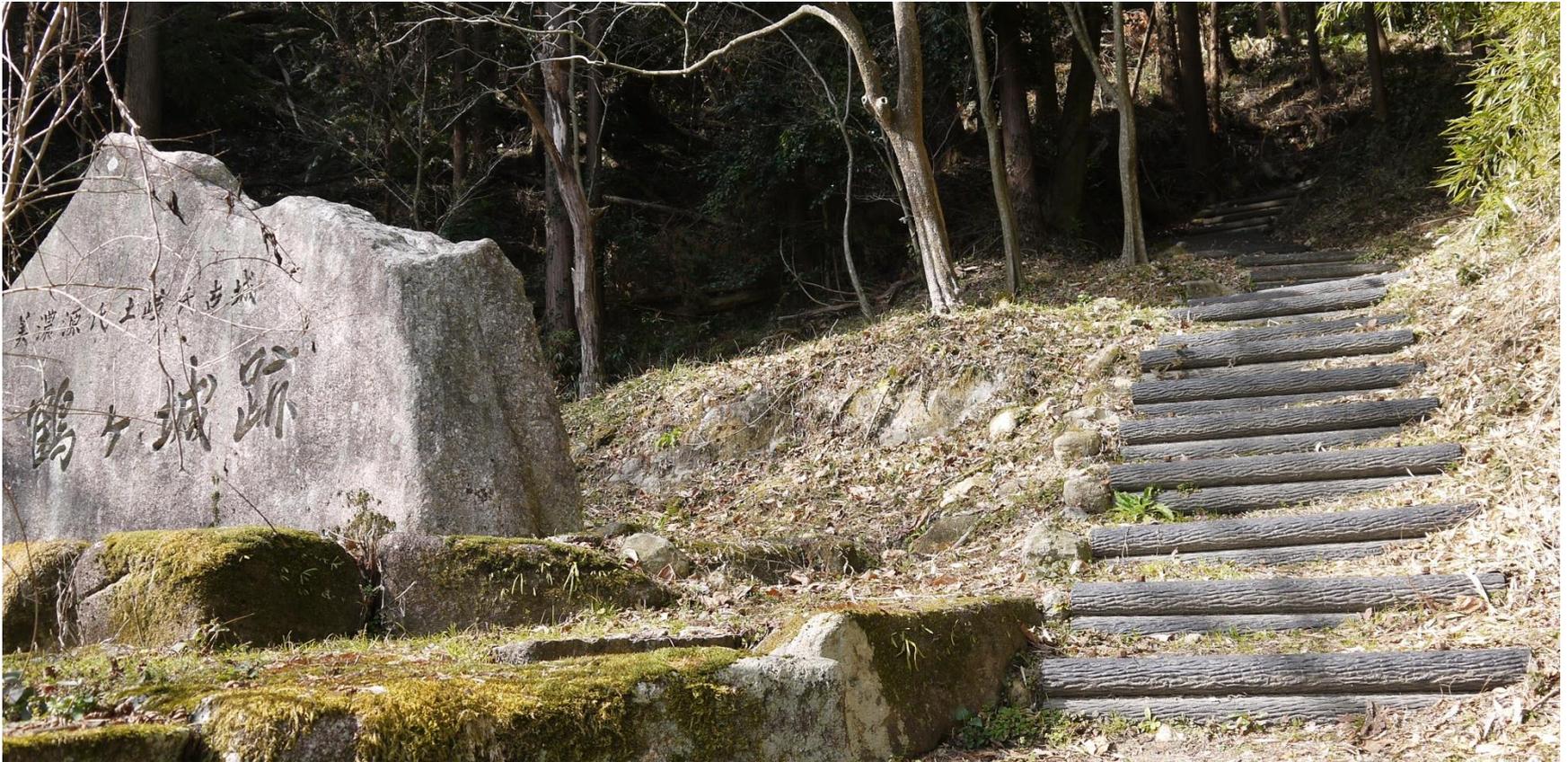
- ▶ ○前回の主な整備
- ▶ 1 登城道に擬木階段設置
- ▶ 2 急傾斜地に樹脂階段設置
- ▶ 3 間伐等の実施



地元鶴城区民とまちづくり委員合同での作業打ち合わせ

平成26年2月登城道整備完成

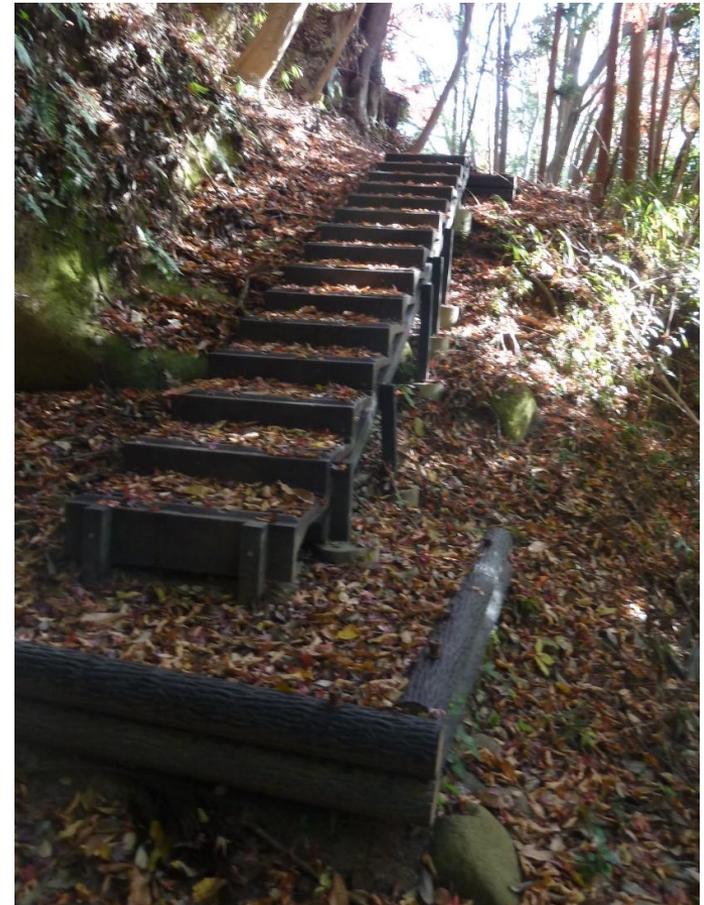
- ▶ ○登城道に擬木階段設置



平成26年2月登城道整備完成

▶ ○急傾斜地に樹脂階段設置

この階段の上方に千畳敷がある



平成26年2月登城道整備完成

▶ ○間伐等により景観向上



千畳敷より釜戸・
恵那方面を望む

西出丸から桜堂・市原
方面を望む



平成26年2月登城道整備完成

- ▶ ○完成式では山城の専門家を招いて講演会を開催



その後・・・

- ▶ ○JR東海さわやかウォーキングなどで登城者増大



その後・・・

- ▶ 地元鶴城区民・まちづくり委員合同で路面修繕作業などを継続



路面修繕のためのチップ



そして問題も・・・

- ▶ ○登り口の階段が急で危ない
- ▶ ○樹脂階段は滑りやすい
- ▶ ○登城道でも滑りやすいところが数箇所
 - ▶ ＊水捌けの悪い箇所等で雨天後に
- ▶ ○千畳敷に休憩場所がない
 - ▶ ＊自然木のベンチが朽ちた
- ▶ ○灌木の背が伸びて来て少し見晴らしに影響も



追加整備事業で問題の改善

- ▶ ○登り口に安全柵（手すり）を設置



石段手すりイメージ



追加整備事業で問題の改善

- ▶ ○樹脂階段に安全柵（手すり）設置



設置後のイメージ

追加整備事業で問題の改善

- ▶ ○登城道排水困難箇所等に安全柵設置



擬木安全柵イメージ

追加整備事業で問題の改善

- ▶ ○千畳敷にとりあえず擬木ベンチを



朽ちてしまった丸太簡易ベンチ

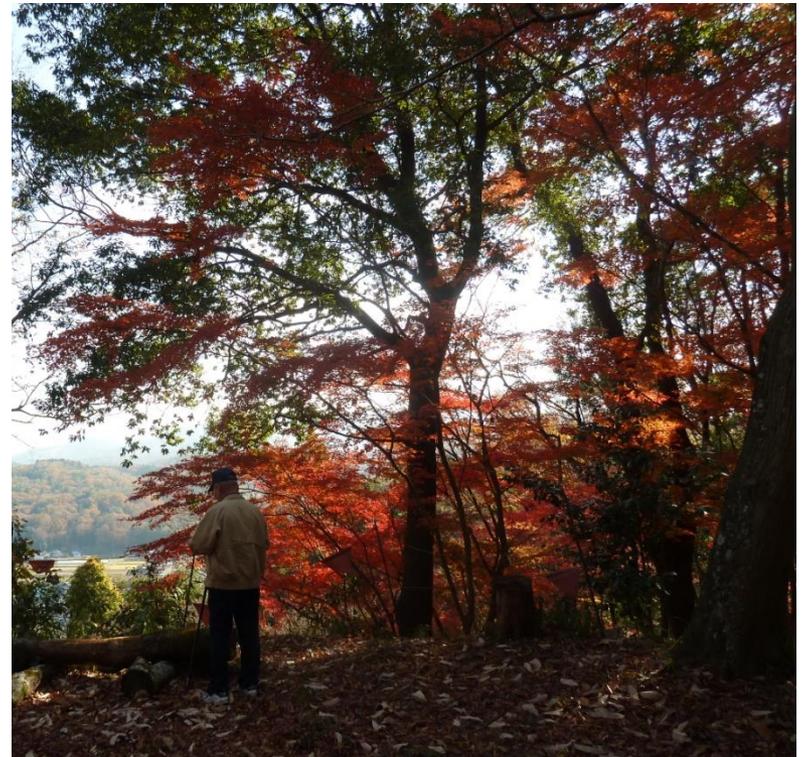
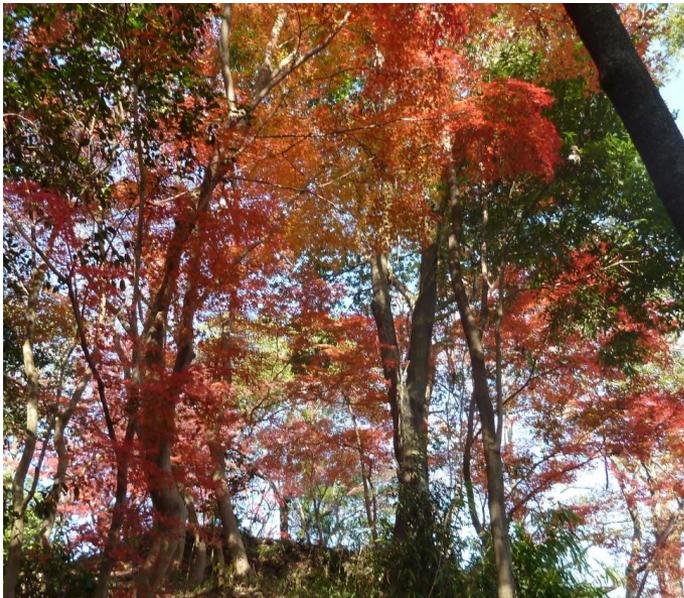


現地組立可能な擬木ベンチのイメージ



追加整備事業で問題の改善

- ▶ ○更なる間伐・伐採等で景観向上
- ▶ ○紅葉の名所づくり



追加整備事業のその先に・・・

- ▶ ○文化財（県指定史跡）鶴ヶ城跡を
 - ▶ 土岐地区町民全体としても郷土の宝物にしたい
 - ▶ ＊鶴ヶ城跡は、千畳敷や出丸から眼下の「土岐の里」を見晴らす時に、遥かな歴史の歩みもまた感じられるような史跡です。
 - ▶ ＊史跡としては典型的な山城で、石垣もないことから、城としては一見魅力に欠けるように思われますが、登城者に「切り岸」「土塁」等が「戦」を強くイメージさせる城です。
 - ▶ ○紅葉の名所で町民に憩いの場を提供
 - ▶ ＊麓からわずか10分で登城できる山城。櫻堂薬師の桜と鶴ヶ城跡の紅葉で「住みたいまち土岐地区」の更なるイメージアップを図ります。
-

▶ ご清聴ありがとうございました

